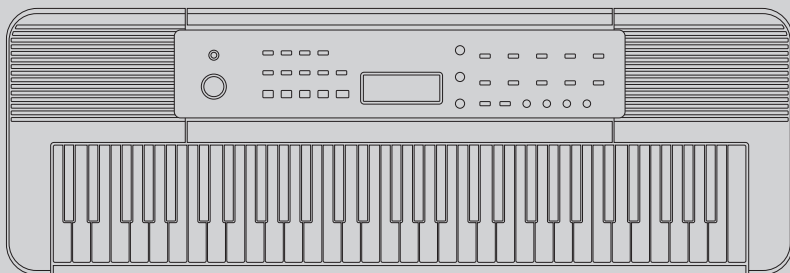


電子キーボード

# 取扱説明書

## PSR-E283



このたびは、ヤマハ電子キーボードをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
この楽器は、豊富な音色や楽曲（ソング）を搭載した、鍵盤楽器が初めての方でも気軽に楽しめる電子キーボードです。  
この楽器に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、本書をよくお読みになってからご使用ください。  
また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管していただきますようお願いいたします。

ご使用の前に必ず 4～8 ページの「安全上のご注意」をお読みください。

**保証書付** 裏表紙にあります

## 説明書について

この楽器には、以下の説明書が用意されています。

### ■ 冊子マニュアル



#### 取扱説明書(本書)

基本的な使い方の説明をしています。

### ■ 電子マニュアル



#### リファレンスマニュアル

より詳しい操作方法や、機能の説明をしています。

また、楽器に搭載しているコンテンツ(音色、ソング、スタイル、ドラムキット、SFXキット、機能)の詳細リストもこちらでご確認いただけます。

上記のマニュアルは、ヤマハの下記ウェブサイトからご覧いただけます。

PSR-E283 関連データダウンロード

<https://manual.yamaha.com/mi/kb-ekb/psr-e283/downloads/>



### ■ 動画マニュアル

この楽器の使い方を説明した動画マニュアルを用意しています。



左の二次元コードを読み取れない場合は、下記ウェブサイトにごアクセスしてください。

<https://manual.yamaha.com/mi/kb-ekb/psr-e283/movies/>

\* 日本語字幕が表示されない場合は、YouTube画面右下の字幕ボタンと設定ボタンで設定してください。



設定ボタン(字幕の言語などを設定します。)

字幕ボタン(字幕表示のオン/オフを切り替えます。)

#### ソングブックのダウンロード

無料でダウンロードできるソングブックを、この楽器を演奏するときにぜひご活用ください。上記「PSR-E283 関連データダウンロード」ウェブサイトからダウンロードできます。



#### ソングブック

この楽器に搭載されているソング(一部を除く)の楽譜が掲載されています。

## 付属品(お確かめください)

- 取扱説明書(本書) × 1
- 電源アダプター × 1
- 譜面立て × 1
- 製品登録のご案内 × 1

# もくじ

---

説明書について .....	2
付属品(お確かめください) .....	2
<b>ご使用前の準備</b> .....	<b>10</b>
電源の準備 .....	10
電源アダプターを使うときは .....	10
電池を使うときは .....	10
電源を入れる/切る .....	11
オートパワーオフ機能 .....	11
バックアップされるデータ .....	11
譜面立てを使う .....	11
<b>各部の名称と機能</b> .....	<b>12</b>
<b>PSR-E283を楽しもう!</b> .....	<b>14</b>
音色を選ぶ .....	14
グランドピアノの音色にする .....	14
いろいろな効果音を鳴らす .....	14
2人で演奏する(デュオ) .....	14
ソング(内蔵曲)を聴く .....	15
好きな曲を練習する(3ステップレッスン) .....	15
自動伴奏に合わせて弾く(スタイル) .....	16
音あてクイズに挑戦しよう! (サウンドクイズ) .....	17
メモリークイズに挑戦しよう! .....	17
リズムで遊ぼう! (リズムスタディ) .....	17
演奏を録音する .....	18
スマートフォンや他のオーディオ機器の音を鳴らす .....	18
機能設定について .....	19
<b>困ったときは</b> .....	<b>21</b>
<b>仕様</b> .....	<b>21</b>
<b>索引</b> .....	<b>22</b>

# 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号

## ■ 「警告」「注意」「ご注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。



### 警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

### ご注意

「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。



## 警告

## 電源



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は必ず交流100Vを使用する。エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。



禁止

雷が鳴っているときは、本製品や電源プラグに触らない。感電の原因になります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず付属のものを使用する。また付属の電源アダプターをほかの機器に使用しない。火災、やけど、または故障の原因になります。

## 電源



必ず実行

電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。

ショートして火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災やけどの原因になります。



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。



禁止

たこ足配線をしなさい。

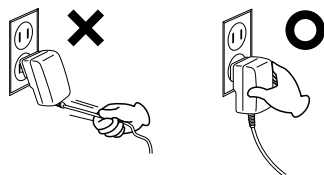
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱したりして火災の原因になります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。

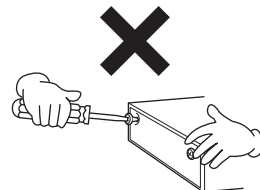
## 分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理や交換できる部品はありません。



## 水に注意



禁止

- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。
- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 電源アダプターは、室内専用のため屋外では使用しない。

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

## 火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。  
火災の原因になります。

## 電池



禁止

- 電池を火の中に入れてない。
  - 電池を下記の場所に置かない。
    - 直射日光のあたる場所(日中の車内など)や火の近くなど極端に温度が高くなる場所
    - 温度や気圧が極端に低いところ
    - ほこりや湿気の多いところ
- 破裂により、火災やけがの原因になります。



禁止

- 指定(21ページ)以外の電池を使用しない。
- 電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。
- 種類の異なる電池を一緒に使用しない。
- +/-の極性表示とは異なった方向に電池を入れない。
- 電池を分解しない。
- 長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体に入れたままにしない。
- 使い切りタイプの乾電池は充電しない。

液漏れ、発熱、破裂により火災やけがの原因になります。また、本体の損傷の原因にもなります。



禁止

電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。  
液に触れると失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



必ず実行

充電式電池を使用する場合は、電池のマニュアルの指示に従い、指定された充電器、指定された温度の範囲内で充電する。  
誤った充電は、液漏れ、発熱、破裂、故障の原因になります。



禁止

電池は乳幼児の手の届くところに置かない。  
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

電池を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。  
火災、感電、故障の原因になります。



必ず実行

電池を意図的にショートさせない。  
電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片を一緒にポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。  
電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。

## 異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。電池を使用している場合は、電池を本製品から抜く。

- ・電源コード/プラグが破損した場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に水や異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。



## 注意

### 設置



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。

本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



必ず実行

本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行う。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。

本製品が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

### 接続



必ず実行

ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ずすべての機器の音量(ボリューム)を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴覚障害または機器の損傷の原因になります。

## 取り扱い



禁止

**本製品のパネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。**

火災、感電、故障や動作不良の原因になります。



禁止

**大きな音量で長時間使用しない。**

聴覚障害の原因になります。特にヘッドホンを使用する場合はご注意ください。万一、聴力低下や耳障りを感じた場合は、専門の医師にご相談ください。



禁止

**本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。**

本体が破損したり、お客様やほかの方々へのけがをきたす原因になります。



必ず実行

**本製品のお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。**

感電の原因になります。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

[Ⓛ](スタンバイ/オン)スイッチを切った状態(画面表示が消えている)でも微電流が流れています。[Ⓛ](スタンバイ/オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom\_ja\_02)



## ご注意

「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。以下の内容をよく読んでお使いください。

### ■ 製品の取り扱いに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。
- スマートフォン、タブレット端末などのスマートデバイスのアプリと一緒に使用する場合は、通信によるノイズを避けるためスマートデバイスの機内モードをオンにしてお使いいただくことをおすすめします。
- 使用環境により、強い電波の影響を受けると、まれに楽器が誤動作することがあります。
- 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。本体が変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります(5℃～40℃の範囲で動作することを確認しています)。
- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体が変色/変質する原因になります。
- 本製品に搭載されている液晶画面は精密部品です。指で押すなど、力を加えないようご注意ください。なお、指で押すことにより画面表示が乱れることがありますが、しばらくすれば元に戻ります。

### ■ 製品のお手入れに関する注意

- お手入れの際は、乾いた柔らかい布、または水を含ませた柔らかい布を固くしぼってご使用ください。ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質の原因になりますので、使用しないでください。

### ■ データの保存に関する注意

- この楽器の一部のデータは自動的に保存され、電源を切っても消えません。ただし保存されたデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。

## お知らせ

### ■ データの著作権に関するお願い

- この製品に搭載されている「コンテンツ」\*1の著作権は、ヤマハ(株)もしくはその著作権者に帰属します。私的使用のための複製など著作権法上認められている場合を除いて、権利者に無断で「複製または転用」\*2することは禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。なお、製品本来の使用を通して、上記コンテンツを使用した音楽制作や演奏を行い、それらを録音して配布する場合、配布方法が有償、無償を問わずヤマハ(株)の許諾は必要ありません。

\*1: 「コンテンツ」には、コンピュータープログラム、サウンドデータ、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。

\*2: 「複製または転用」には、この製品に内蔵または同梱されたコンテンツそのものを取り出すこと、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することを含みます。

### ■ 製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

- 内蔵曲は、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

### ■ 製品の外観について

- 製品に線やキズが入っているように見える場合があります。これはケースを成型する際に現れる線(ウエルドライン)であり、ヒビやキズではありません。製品の使用上まったく問題ありません。

### ■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

### ■ 廃棄に関するお知らせ

- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。
- 使用済みの電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄してください。

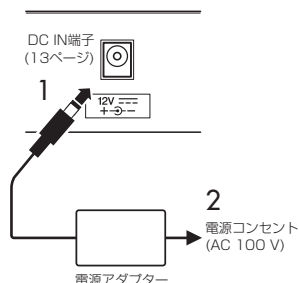
# ご使用前の準備

## 電源の準備

この楽器の電源には、電源アダプターが電池を使用できませんが、電源アダプターのご使用をおすすめします。

### 電源アダプターを使うときは

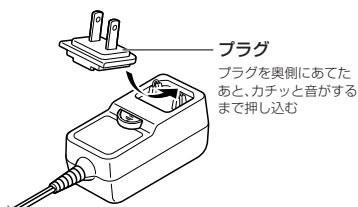
図の順序で電源アダプターを接続します。



### 警告

- 電源アダプターは、必ず付属または指定のもの(21ページ)をご使用ください。異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねることがございますので、十分ご注意ください。
- プラグが外れるタイプの電源アダプターは、必ずプラグを装着した状態で使用、または保管してください。プラグ部分だけをコンセントに差し込むと、感電や火災の原因になります。
- プラグが外れた場合は、内部の金属部分に触れないよう注意して、カチッと音がするまで押し込んでください。また異物が入らないようご注意ください。感電やショート、故障の原因になります。

#### PA-130Cの場合



### 注意

- 本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

#### NOTE

- 電源アダプターを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行なってください。

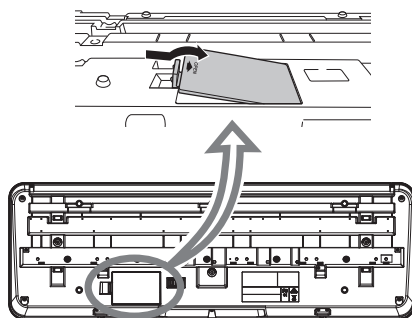
## 電池を使うときは

この楽器は、単3形のアルカリ乾電池、マンガン乾電池、充電式ニッケル水素電池(充電電池)を使用できます。ただし、使い方により大きな電力を消費する場合がありますので、アルカリ乾電池または充電電池のご使用をおすすめします。

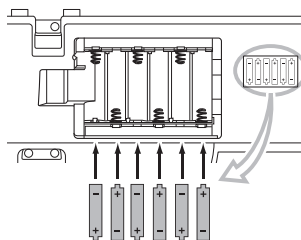
### 警告

- 長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いてください。

- 1 電源が切れていることを確認してください。
- 2 本体を柔らかい布などの上で裏返し、電池カバーを外します。



- 3 電池6本を入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。



- 4 電池カバーを閉めます。

お使いの電池の種類に合わせて、本体の設定を切り替えてください(11ページ)。

### ご注意

- 電池がセットされ電源が入っているときに、電源アダプターのDCプラグを抜き差ししないでください。電源が一時的に切れて録音中のデータが失われますのでご注意ください。
- 電池は早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり、また正常に動かなくなることがあります。このような場合は、すべての乾電池を交換するか、充電電池を充電してください。

## NOTE

- 充電電池は、必ず専用の充電器で充電してください。この楽器では、充電できません。
- 電池が本体に入っている状態でも、電源アダプターが接続されている場合は、電源アダプターが電源として使われます。

## ■電池の種類を設定する

お使いの電池の種類に合わせて、本体の設定(乾電池または充電電池)を切り替えてください。初期設定は、乾電池です。設定は、電源を入れたあと、機能番号029(20ページ)で切り替えます。設定の確認、変更について詳しくは19ページをご覧ください。

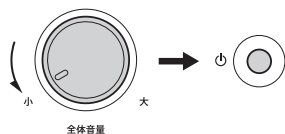
Alkaline	アルカリ乾電池、マンガン乾電池
Ni-MH	充電式ニッケル水素電池(充電電池)

## ご注意

- 電池の種類の設定を間違えると、電池の劣化を早め、使用可能時間が短くなります。正しい設定でお使いください。

## 電源を入れる/切る

- 1 [全体音量]ダイヤルを左に回し、音量を最小にします。



- 2 [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れます。

電源が入ると、画面が表示が現れます。鍵盤を弾いて音を出しながら、[全体音量]ダイヤルを左右に回して全体音量を調節してください。

- 3 電源を切るには、もう一度[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを1秒ほど押します。

## ⚠注意

- 電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

## ご注意

- 電源を入れるときは、[⏻](スタンバイ/オン)スイッチ以外(鍵盤、ボタン、フットスイッチなど)を操作しないでください。楽器が誤動作する原因になります。

## オートパワーオフ機能

この楽器は、電源の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐため、楽器を一定時間操作しないと自動的に電源が切れる「オートパワーオフ機能」を搭載しています。電源が切れるまでの時間は、初期設定では30分ですが、変更することもできます(20ページ 機能番号028)。

## ■オートパワーオフ機能の簡単解除

電源を入れるとき、左端の鍵盤を押しながら電源を入れます。画面に「oFF AutoOff」が表示され、自動的に電源が切れなくなります。



## バックアップされるデータ

以下の設定は自動的にバックアップされるため、電源を切っても消えません。

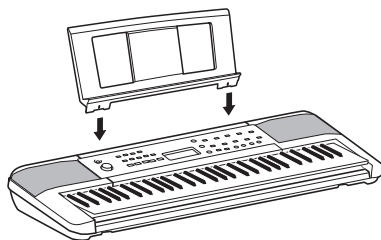
- ユーザーソング(18ページ)
- 機能設定(19ページ)
  - チューニング、フィンガリングタイプ、マスター EQタイプ、ユアテンポ、オートパワーオフモード、バッテリー選択

## NOTE

- バックアップデータを工場出荷時に戻す方法(初期化)については、ウェブサイト上のリファレンスマニュアルをご覧ください。

## 譜面立てを使う

譜面立ては本体の溝に差し込んでお使いください。

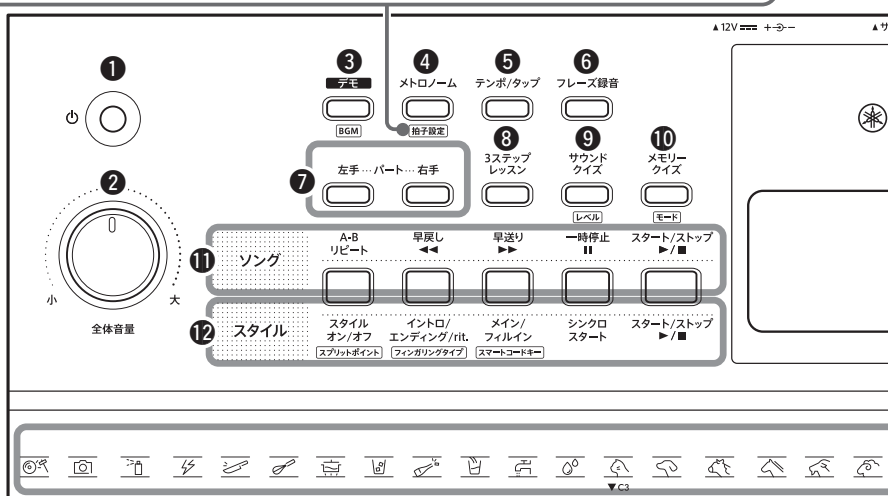


# 各部の名称と機能

## ■フロントパネル

□で囲まれたボタン名について(シフト機能)

[シフト] (SHIFT) ⑩を押しながらボタンを操作すると、ボタンの下の枠内に書かれた機能が実行されます。例えば、[シフト] ⑩を押しながら[メトロノーム] ④を押すと、拍子設定の画面が呼び出されます。



① [⏻] (スタンバイ/オン)スイッチ.....11ページ  
電源のスタンバイ/オンを切り替えます。

② [全体音量]ダイヤル .....11ページ  
全体音量を調節します。

③ [デモ]ボタン  
デモソングの連続再生をスタート/ストップします。  
[BGM]  
連続再生するソンググループ(デモグループ)を設定します。

④ [メトロノーム]ボタン  
メトロノーム機能のオン/オフを切り替えます。  
[拍子設定]  
メトロノームの拍子を設定します。

⑤ [テンポ/タップ]ボタン  
ソング、スタイル、メトロノームのテンポを設定します。テンポの設定時は、画面に「NUM LOCK」アイコンが表示され、④のボタン群を数字ボタンとしてテンポを入力できます。  
画面に「Tempo」が表示されたら、数字ボタン④や[+]、[-]⑤で設定します。[+]と[-]⑤を同時に押すと、初期設定のテンポに戻ります。

### タップスタート

ボタンを押したテンポでソングやスタイルがスタートします。4拍子なら4回、3拍子なら3回、このボタンを押します。

⑥ [フリーズ録音]ボタン .....18ページ  
手弾きのフリーズを録音します。

⑦ [パート] [左手]/[右手] ボタン.....15ページ  
選択中のソングのレッスンしたいパートや、音を消したいパートを選びます。

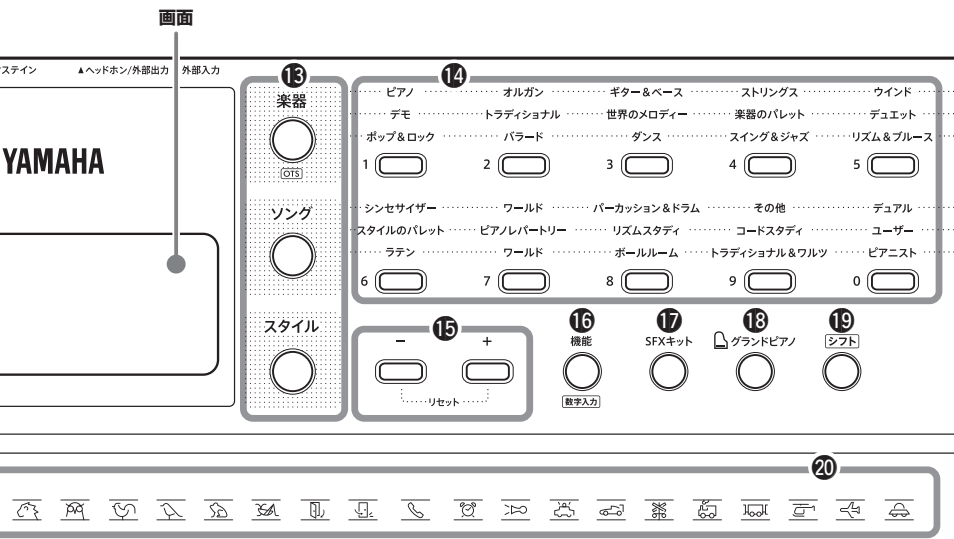
⑧ [3ステップレッスン]ボタン .....15ページ  
3ステップレッスンをスタート/ストップします。また、レッスンのモードを選びます。

⑨ [サウンドクイズ]ボタン .....17ページ  
サウンドクイズをスタート/ストップします。  
[レベル]  
サウンドクイズのレベルを選びます。

⑩ [メモリークイズ]ボタン .....17ページ  
メモリークイズをスタート/ストップします。  
[モード]  
メモリークイズの種類(モード)を選びます。

⑪ [ソングコントロール]ボタン.....15ページ  
ソング再生をコントロールします。

⑫ [スタイルコントロール]ボタン .....16ページ  
スタイル再生をコントロールします。



### 13 モード選択ボタン ..... 14、15ページ

楽器(音色)、ソング、スタイル、それぞれの選択画面を表示し、それぞれのモードに切り替えます。

#### OTS (ワンタッチセッティング)

選んだソング、スタイルに最適な音色が自動的に選ばれる状態にします。ワンタッチセッティングが有効のときは、音色番号は「000」になります。

### 14 楽器/ソング/スタイルカテゴリーボタン、数字ボタン[0]～[9] ..... 14、15ページ

お好みの楽器/ソング/スタイルを選択したり、設定値を直接数値で入力したりします。

### 15 [+]/[-]ボタン

項目を選んだり、値を設定したりします。押し続けると連続して変わります。[+]と[-]を同時に押しすと、初期設定に戻せます(リセット)。

### 16 [機能]ボタン ..... 19ページ

機能設定画面を表示します。

#### 数字入力

画面に「NUM LOCK」というアイコンが表示され、16のボタンを数字ボタンとして使えるようになります。

### 17 [SFXキット]ボタン ..... 14ページ

さまざまな効果音を鍵盤で鳴らせるようになります。

### 18 [グランドピアノ]ボタン ..... 14ページ

楽器の音色が「楽器番号001 グランドピアノ」になります。

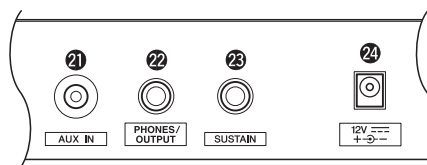
### 19 シフト ボタン

このボタンを押したまま他のボタンを押すことで、そのボタンの2つめの機能呼び出します。

### 20 SFXキット用イラスト ..... 14ページ

[SFXキット]17を押したときに、鍵盤に割り当てられる効果音のイラストです。

## リアパネル



### 21 [AUX IN]端子 ..... 14ページ

スマートフォン等のオーディオ機器を接続します。

### 22 [PHONES/OUTPUT]端子

別売のヘッドホンやスピーカー等の外部機器を接続します。

### 23 [SUSTAIN]端子

別売のフットスイッチを接続して、サステインペダルとして使えます。

### 24 DC IN端子 ..... 10ページ

電源アダプターを接続します。

# PSR-E283を楽しもう！

## ボタン名について

パネル上のボタン類は[ ]で示します。  
また、ボタン名の後ろの数字は、「各部の名称と機能」(12～13ページ)内の番号を示しています。  
たとえば、デモのボタンは、文章中で[デモ]③と表記します。

## 音色を選ぶ

### 1 [楽器]⑩を押します。



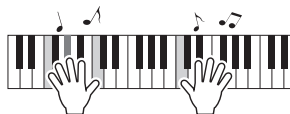
### 2 カテゴリーボタン⑪のうち、弾きたい楽器のボタンを押します。

…… オルガン …… ← 楽器カテゴリー  
…… トラディショナル ……  
…… バラード ……



ボタンを押すたびに、同じカテゴリー内の別の音色に変わります。

### 3 鍵盤を弾きます。



## グランドピアノの音色にする

### 1 [グランドピアノ]⑩を押します。



いろいろな設定がすべてリセットされ、鍵盤全域がピアノ音色で演奏できるようになります。

## いろいろな効果音を鳴らす

### 1 [SFXキット]⑰を押します。



### 2 鍵盤を弾きます。

弾いた鍵盤のすぐ上の絵⑱をイメージした音が出ます。



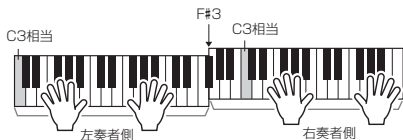
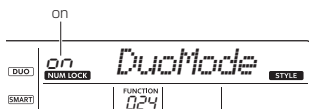
上に絵のない鍵盤でもいろいろな音が出ます。

## 2人で演奏する(デュオ)

### 1 [機能]⑱を繰り返し押しして「DuoMode (024)」を呼び出します。



### 2 [+ ]⑳を押して、「on(オン)」にします。



F#3の鍵盤を境目として、左右同じ音域の音で弾けます。

### 3 デュオを解除するには、「DuoMode(024)」(手順1参照)を呼び出し、[ - ]㉑を押して「off(オフ)」にします。

## ソング(内蔵曲)を聴く

### 1 [ソング]⑩を押します



### 2 カテゴリーボタン⑪を押して、聴きたいソングを選びます。

……ストリングス ……  
 ……楽器のパレット …… ← ソングカテゴリー  
 ……スイング&ジャズ ……



ボタンを押すたびに、同じカテゴリー内の別のソングに変わります。

### 3 [スタート/ストップ]⑫を押すとソングが再生されます。

- [テンポ/タップ]⑬を押すと、テンポを変更できます。
- パートの[左手]または[右手]⑭を押すとそのパートの音が消えて、パート練習ができます。

### 4 [スタート/ストップ]⑫を押すと、ソングの再生が終了します。

## 好きな曲を練習する(3ステップレッスン)

### 1 好きなソングを選びます。

(「ソング(内蔵曲)を聴く」の手順1、2)

### 2 [3ステップレッスン]⑯を押す回数で、レッスンの種類(モード)を選びます。



- 1回: お手本が再生されます。(お手本モード)



- 2回: 鍵盤を弾くタイミングを練習します。タイミングが合っていれば、どの鍵盤を弾いても、画面に表示される音が鳴ります。(タイミングモード)



- 3回: 画面に表示される音を弾けるように練習します。正しい鍵盤を押さえるまでソング再生が待ってくれます。(マイペースモード)



選んだレッスンの種類が画面に表示されます。カウント音のあとイントロが再生されて、選んだレッスンが開始されます。ソングの最後まで弾くと採点結果が表示されます。

### 3 [スタート/ストップ]⑫を押して、レッスンモードを終了します。

レッスンの途中で終了することができます。

## 自動伴奏に合わせて弾く(スタイル)

1 [スタイル]⑩を押します。



2 カテゴリーボタン⑪を押して、弾きたいスタイルを選びます。

……ギター & ベース ……  
 ……世界のメロディー ……  
 ……ダンス …… ← スタイルカテゴリー

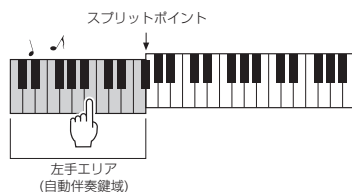


ボタンを押すたびに、同じカテゴリー内の別のスタイルに変わります。

3 [スタイルオン/オフ]⑫を押して、自動伴奏をオンにします。



左手エリアがコード指定のための領域になります。

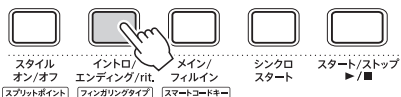


4 [シンクロスタート]⑬を押します。



左手エリアの鍵盤を押したときに自動伴奏が始まる状態になります。

5 [イントロ/エンディング/rit.]⑭を押します。



自動伴奏がイントロから始まる状態になります。

6 左手エリアで伴奏の最初のコードのルート音を1本指で弾くと、伴奏がイントロからスタートします。

7 左手で伴奏のコードのルート音を弾き、合わせて右手でメロディーを弾きます。

8 [イントロ/エンディング/rit.]⑭を押します。

エンディングが再生されたあと、自動伴奏が終了します。

エンディング再生の途中でもう一度[イントロ/エンディング/rit.]⑭を押すことで、再生スピードをゆっくりにして終わることもできます。(リタルダント)



## 音あてクイズに挑戦しよう！ (サウンドクイズ)

- 1 [サウンドクイズ]⑨を押すと、ファンファーレが鳴り、クイズがスタートします。



- 2 楽器から鳴った音と同じ音を探して弾きます。  
正解すると次に進みます。回答チャンスは3回です。がんばって音を当てましょう。  
全10問を回答するとクイズは終了し、採点結果が表示されます。  
クイズを途中で終了したいときは、もう一度[サウンドクイズ]⑨を押します。

## メモリークイズに挑戦しよう！

クイズをクリアして、メロディーを弾けるようになりましょう！

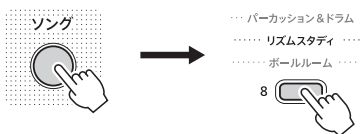
- 1 [メモリークイズ]⑩を押すとファンファーレが鳴り、クイズがスタートします。



- 2 お手本が鳴り終わったら、その音を弾きます。  
正解することに出題される音の数が増えていきます。最後までクイズを進めると、メロディーが完成します。  
メロディーを最後まで弾き終わるか、1問で3回間違えたらクイズは終了し、採点結果が表示されます。  
クイズを途中で終了したいときは、もう一度[メモリークイズ]⑩を押します。

## リズムで遊ぼう！(リズムスタディ)

- 1 [ソング]⑩を押して、リズムスタディ曲を選びます。



- 2 [スタート/ストップ]⑪を押すとリズムスタディがスタートします。
- 3 画面の上部にマークが流れてくるので、右端に来たタイミングに合わせて鍵盤を押します。

ここにマークが来たら押します。



正しいタイミングで弾くと「PAS」という文字が表示されます。タイミングが合っていれば、どの鍵盤を弾いても正解になります。

- 4 曲が終わると点数が表示されます。

リズムに乗って、100点満点を目指してがんばりましょう！  
リズムスタディを途中で終了したいときは、[スタート/ストップ]⑪を押します。

## 演奏を録音する

手軽に手弾きのフレーズをユーザーソング(ソング番号123)として楽器に録音して、再生できます。

- 1 [フレーズ録音]⑥を押して、録音待機に入ります。

フレーズ録音



- 2 鍵盤を弾くか、[スタート/ストップ]⑩を押して録音を開始します。
- 3 [スタート/ストップ]⑩を押して、録音を終了します。
- 4 [スタート/ストップ]⑩を押して、録音した曲を再生します。

### ご注意

- 録音中は、電源を切ったり、電源アダプターを抜き差ししたりしないでください。データが失われます。

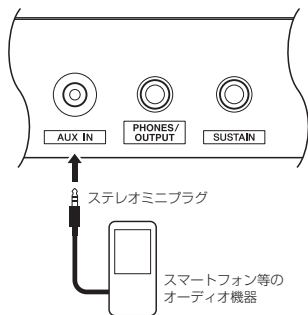
### NOTE

- ユーザーソングとして録音できるのは、1曲です。新しくユーザーソングを録音すると、録音前に保存されていたユーザーソングは消去され、上書きされます。
- ユーザーソングのデータを消去するには、手順2で[スタート/ストップ]⑩を押したあと、何も弾かずに、もう一度[スタート/ストップ]⑩を押します。
- 録音した曲を後で再生するには、「ソング(内蔵曲)を聴く」の手順2で[ユーザー]⑨を押します。

## スマートフォンや他のオーディオ機器の音を鳴らす

- 1 オーディオ機器および楽器本体の電源をオフにします。
- 2 オーディオ機器を楽器の<sup>ニューエックスイン</sup>[AUX IN]端子に接続します。

片側がステレオミニプラグ、もう片方はオーディオ機器の出力端子に接続できるプラグを持つオーディオケーブル(抵抗なし)をお使いください。



- 3 オーディオ機器、楽器本体の順に電源を入れます。
- 4 オーディオ機器を再生します。  
オーディオ機器の再生音が楽器本体のスピーカーで鳴ります。
- 5 オーディオ機器と楽器本体の音量バランスを調整します。  
オーディオ機器の再生音量は、オーディオ機器側で調整します。
- 6 オーディオ機器の再生を停止します。

### ⚠ 注意

- この楽器を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切ったあとで接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。

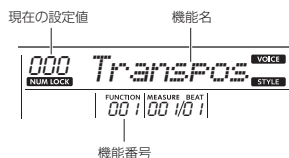
### ご注意

- 楽器および外部機器の損傷を防ぐため、電源を入れるときは外部機器→楽器の順に、電源を切るときは楽器→外部機器の順に行なってください。

## 機能設定について

チューニングやスプリットポイント、各音色やエフェクト、電池の種類などの細かい設定をすることができます。

- 1 設定したい項目の画面表示が出るまで、[機能]Ⓚを繰り返し押します。



[機能]Ⓚを押しながら[-]Ⓛを押すと、機能番号をひとつ小さな番号に戻すことができます。

[+]、[-]Ⓛだけを押ししても、機能番号は変わりません。

- 2 数字ボタンⓁや、[+]、[-]Ⓛを押して、値を設定します。

[+]と[-]Ⓛを同時に押すと、初期設定値に戻せます。

### NOTE

- 機能設定中は、**NUM LOCK**アイコンが自動で点灯し、楽器/ソング/スタイルカテゴリーボタンⓁを数字ボタンⓁとして使って、設定値を変更できます。

- 3 機能設定から抜けるには、[楽器]、[ソング]、[スタイル]Ⓚのいずれかを押します。

## 機能リスト

機能番号	機能名	画面表示	設定値	初期設定
<b>楽器全体</b>				
001	トランスポーズ	<i>Transpos</i>	-12 ~ 12	0
002	チューニング	<i>Tuning</i>	427.0Hz ~ 453.0Hz	440.0Hz
003	スプリットポイント	<i>SplitPnt</i>	036 ~ 096 (C1 ~ C6)	054 (F#2)
<b>音色(14ページ)</b>				
004	音量	<i>M. Volume</i>	000 ~ 127	*
005	オクターブ	<i>M. Octave</i>	-2 ~ 2	*
006	リバーブレベル	<i>M. Reverb</i>	000 ~ 127	*
007	コーラスレベル	<i>M. Chorus</i>	000 ~ 127	*
<b>スタイル(16ページ)</b>				
008	スタイル音量	<i>StyleVol</i>	000 ~ 127	100
009	フィンガリングタイプ	<i>FingType</i>	1 (SmartChd) 2 (Multi)	1 (SmartChd)
010	スマートコードキー	<i>S. ChdKey</i>	FL7 (フラット7個) ~ SP0 (調号なし) ~ SP7 (シャープ7個)	SP0 (調号なし)
<b>ソング(15ページ)</b>				
011	ソング音量	<i>SongVol</i>	000 ~ 127	100
012	ソングメロディー音色	<i>MelodyUc</i>	001 ~ 410	**
<b>エフェクト</b>				
013	リバーブタイプ	<i>Reverb</i>	01 ~ 03 (Hall 1 ~ 3) 04 ~ 05 (Room 1 ~ 2) 06 ~ 07 (Stage 1 ~ 2) 08 ~ 09 (Plate 1 ~ 2) 10 (Off (オフ))	**

機能番号	機能名	画面表示	設定値	初期設定
014	リバーブトータルレベル	<i>RevLevel</i>	000 ~ 127	64
015	コーラスタイプ	<i>Chorus</i>	1 (Chorus1) 2 (Chorus2) 3 (Chorus3) 4 (Flanger1) 5 (Flanger2) 6 (Off (オフ))	**
016	パネルサステイン	<i>Sustain</i>	on/off (オン/オフ)	oFF (オフ)
017	マスター EQ タイプ	<i>MasterEQ</i>	1 (Speaker) 2 (Headphone) 3 (Boost) 4 (Piano) 5 (Bright) 6 (Mild)	1 (Speaker)
018	ワイドタイプ	<i>Wide</i>	1 (Wide1) 2 (Wide2) 3 (Wide3) 4 (Wide Off)	4 (Wide Off)
<b>クイズ(17ページ)</b>				
019	サウンドクイズレベル	<i>QuizLvl</i>	AUt (オート)、001、002、003	AUt (オート)
020	メモリークイズモード	<i>QuizMode</i>	1 (Melody)、2 (Random)	1 (Melody)
<b>メトロノーム(12ページ)</b>				
021	拍子	<i>TimeSig</i>	00 ~ 15	**
022	メトロノーム音量	<i>MetroVol</i>	000 ~ 127	100
<b>レッスン(15ページ)</b>				
023	ユアテンポ	<i>YourTemp</i>	on/off (オン/オフ)	on (オン)
<b>デュオ(14ページ)</b>				
024	デュオモード	<i>DuoMode</i>	on/off (オン/オフ)	oFF (オフ)
025	デュオタイプ	<i>DuoType</i>	1 (Balance) 2 (Separate)	2 (Separate)
<b>デモ(12ページ)</b>				
026	デモグループ	<i>DemoGrp</i>	1 (Demo) 2 (Preset) 3 (User)	1 (Demo)
027	プレイモード	<i>PlayMode</i>	1 (Normal) 2 (Random)	1 (Normal)
<b>オートパワーオフ(11ページ)</b>				
028	オートパワーオフモード	<i>AutoOff</i>	oFF (オフ)、5/10/15/30/60/120 (分)	30 (分)
<b>バッテリー (10ページ)</b>				
029	バッテリー選択	<i>Battery</i>	1 (Alkaline) 2 (Ni-MH)	1 (Alkaline)

\* 音色の組み合わせごとに最適な設定値になっています。

\*\* 現在選ばれている「ソング」「スタイル」ごとに最適な設定値になっています。

**NOTE**

- 電源を切っても保持される設定や、バックアップ、初期化について詳しくは、ウェブサイト上のリファレンスマニュアルをご覧ください。

# 困ったときは

現象	原因と解決方法
押さえる鍵盤によって、音質や音量が異なる。	故障ではありません。この楽器で採用しているAWM音源方式では、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵盤をいくつかにかけて楽器の音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方式をとっています。これらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。
電源が勝手に切れる。	故障ではありません。オートパワーオフ機能が働いたためです。オートパワーオフ機能を使用しない場合は、オートパワーオフ機能を解除してください。(11ページ)
[Ⓜ](スタンバイ/オン)スイッチを押して電源を入れたとき、電源がすぐに切れる。	過電圧保護機能が働いたためです。指定以外の電源アダプターを使用しているか、電源アダプターが壊れている可能性があります。電源アダプターは必ず指定のもの(下記「仕様」"電源"参照)をご使用ください。電源アダプターが壊れている可能性がある場合は、お買い上げ店、または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

また、次のサイトもあわせてご確認ください。

<https://manual.yamaha.com/mi/kb-ekb/psr-e283/faq/>

上記で解決しない場合は、「電子ピアノ・キーボードご相談窓口」(23ページ)へお問い合わせください。



## 仕様

### 品名

電子キーボード

### 寸法 (幅×奥行き×高さ)

940 mm × 317 mm × 104 mm

### 質量

4.0 kg (電池含まず)

### 鍵盤

鍵盤数：61鍵 (C1～C6)

### 音色

- 最大同時発音数：32
- 音色数：392音色+18ドラム/SFXキット

### 効果

- リバーブ：9種類、コーラス：5種類、マスターEQ：6種類、ウルトラワイドステレオ：3種類

### 伴奏スタイル

- スタイル数：150
- フィンガリング：スマートコード、マルチフィンガー
- スタイルコントロール：スタイルオン/オフ、シンクロススタート、スタート/ストップ、イントロ/エンディング/rit.、メイン/フィルイン

### ソング

- 内蔵曲数：122 (リズムスタディ 10、コードスタディ 12含む)
- A-Bリピート

### 録音

- 曲数：1、トラック数：1、データ容量：約300音符

### ファンクション

- レッスン：1 お手本、2 タイミング、3 マイペース
- パネルサステイン
- ワンタッチセッティング(OTS)
- メトロノーム
- テンポ：11～280 (タップテンポ：32～280)
- トランスポーズ：-12～0～+12

- チューニング：427.0～440.0～453.0 Hz (約0.2 Hz単位)
- デュオ
- クイズ：サウンドクイズ、メモリークイズ(メロディモード、ランダムモード)
- その他：ピアノボタン([グランドピアノ]ボタン)、SFXキットボタン

### 接続端子

- DC IN：12 V
- ヘッドホン/外部出力：ステレオ標準フォーン端子 × 1
- サステインペダル
- AUX IN：ステレオミニ端子 × 1

### 音響

- アンプ出力：2.5 W + 2.5 W
- スピーカー：12 cm × 2

### 電源部

- 電源：電源アダプター：PA-130C(またはヤマハ推奨の同等品)  
電池：単3電池 × 6(別売)  
(アルカリ乾電池/マンガン乾電池/充電式ニッケル水素電池)
- 消費電力：6 W (電源アダプター PA-130C使用時)
- 電池寿命：アルカリ乾電池で約14時間、充電式ニッケル水素電池で約12時間
- オートパワーオフ機能(時間設定可能)

### 付属品

取扱説明書(本書)、製品登録のご案内、譜面立て、電源アダプター (PA-130Cまたはヤマハ推奨の同等品)

### 別売品

ヘッドホン(HPH-50/HPH-100/HPH-150)、フットスイッチ(FC4A/FC5)、電源アダプター (PA-3Cまたはヤマハ推奨の同等品)、キーボードスタンド(L-2L/L-2C)、キーボードソフトケース(SC-KB630)

※ 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

# 索引

<b>A</b>		<b>セ</b>	
AUX IN .....	18	全体音量 .....	11
<b>B</b>		<b>ソ</b>	
BGM .....	12	ソング .....	15
<b>O</b>		<b>タ</b>	
OTS(ワンタッチセッティング).....	13	タイミングモード .....	15
<b>R</b>		タップ .....	12
rit. (リタルダント) .....	16	<b>チ</b>	
<b>S</b>		チューニング .....	19
SFXキット .....	14	<b>テ</b>	
<b>イ</b>		デモ .....	12
イントロ .....	16	デュオ .....	14
<b>ウ</b>		電源 .....	10
ウェイトングモード .....	15	電源アダプター .....	10
<b>エ</b>		電池 .....	10
エフェクト .....	19	テンポ .....	12
エンディング .....	16	<b>ト</b>	
<b>オ</b>		トランスポーズ .....	19
オートパワーオフ .....	11	<b>ヒ</b>	
お手本モード .....	15	拍子設定 .....	12
音量(全体) .....	11	<b>フ</b>	
<b>カ</b>		フィンガリングタイプ .....	19
楽器 .....	14	フットスイッチ .....	13
乾電池→電池 .....	10	譜面立て .....	11
<b>キ</b>		フリース録音 .....	18
機能設定 .....	19	<b>ヘ</b>	
<b>ク</b>		ヘッドホン .....	13
クイズ .....	17	<b>マ</b>	
クイズレベル .....	12	マイベースモード .....	15
グランドピアノ .....	13, 14	<b>メ</b>	
<b>コ</b>		メトロノーム .....	12
効果音 .....	14	<b>リ</b>	
困ったときは .....	21	リズム .....	17
<b>サ</b>		<b>レ</b>	
採点 .....	17	レベル .....	12
サステイン .....	13	<b>ロ</b>	
<b>シ</b>		録音 .....	18
自動伴奏 .....	16	<b>ワ</b>	
シフト機能 .....	12	ワンタッチセッティング .....	13
仕様 .....	21		
シンクロスタート .....	16		
<b>ス</b>			
数字入力 .....	13, 19		
スタイル .....	16		
スタンバイ/オン .....	11		
スプリットポイント .....	16, 19		
スマートコードキー .....	19		

## 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

### ●保証書

本書に保証書が掲載されています。

「販売店印・お買い上げ日」が記入されている場合は、記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。記入されていない場合は、購入を証明する書類(領収書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

### ●保証期間

保証書をご覧ください。

### ●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

### ●保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

有寿命部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

### ●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

### ●修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、またはヤマハ修理ご相談センターへご連絡ください。

### ●製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ◆修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。  
※通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**

受付時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAX

東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)  
03-5762-2125  
西日本(北陸/近畿/中国/四国/九州/沖縄)  
06-6649-9340

## ◆修理品お持込み窓口

受付時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

\*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT 京浜E棟-5F  
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪府浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ(辻本ビル)7F  
FAX 06-6649-9340

※名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

◆本製品の仕様や取り扱いに関するお問い合わせ  
ご購入の特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター  
電子ピアノ・キーボードご相談窓口



0570-006-808

※固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。  
※通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-5272**

受付時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)  
<http://jp.yamaha.com/support/>

## ◆ウェブサイトのご案内

- ・ヤマハ株式会社のホームページ  
<https://jp.yamaha.com/>
- ・ヤマハ エレクトーン・キーボードサイト  
<https://jp.yamaha.com/kbd/>
- ・ヤマハ サポート・お問い合わせ  
<https://jp.yamaha.com/support/>
- ・ヤマハミュージックデータショップ  
<https://yamahamusicdata.jp/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1

※都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

この度はヤマハ電子キーボードをお買い上げいただきましてありがとうございました。  
本書は下記の保証規定により無料修理を行なうことをお約束するものです。  
お買い上げの日から右記期間中に万一故障が発生した場合は製品に本書を添えて  
お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

ご住所	□□□□ - □□□□□□
電話	— —
お名前	殿

\*この保証書にご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの情報は、  
本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用いたします。

修理ご相談センター



0570-012-808

※一般電話、公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

※上記番号でつながらない場合は 053-460-4830 へおかけください。  
受付時間: 月～金 10:00～17:00 (土日・祝日・センター指定休日を除く)

製造番号		
お買い上げ日	年 月 日	
保証期間	本体 電源アダプター	お買い上げの日から一年間
販売店名		
(所在地)		
(電話)	(扱者名)	

株式会社ヤマハミュージックジャパン

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

## 保証規定

保証期間中、正常なご使用状態のもとで万一発生した故障につきましては、無料修理致します。

## ●保証書のご使用方法

- 保証期間内に万一本製品が故障した場合には、お買い上げの販売店にご依頼の上、修理に際して本書をご提示ください。

## ●保証期間中でも次の場合は有料となります。

- 納品後、輸送・移動時のお取扱いが適当でないために生じた故障・損害の場合。
- 取扱説明書に記載の注意事項に反するお取扱いによって発生した故障の場合。
- 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- 塗装面及び金属面が経年変化により退色、変色した場合。
- 弊社関係のサービスマン以外の方が修理・改造された部分で、その修理改造が不適当であった場合。
- 火災・地震・水害・落雷、その他の天災及び公害や電圧異常による故障、損傷の場合。
- 鼠害、盗害等による故障、損傷の場合。
- 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合。あるいは字句を書替えられた場合。
- 本書のない場合。又、ご提示のない場合。
- お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

## ●転居の場合等

- 転居、ご贈答品等で、本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、ヤマハ修理ご相談センターにご相談ください。
- 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内に、本製品を他人に譲渡あるいは転売された場合に於ても、残存期間は保証致します。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
(This warranty is valid only within Japan.)
- 保証期間の1年が過ぎましても、サービスは有料にて責任を持って実施させていただきます。
- 本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。  
従って本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店もしくはヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

